

平成 28 年度第 2 回（第 9 回）野洲市子育て支援会議結果報告

1.開催日時・開催場所

日時：平成 29 年 2 月 16 日（木） 午前 10 時～正午

場所：野洲市役所本館 3 階第一委員会室

2.出席委員

◆子育て支援会議委員

泉井 郁美委員（野洲市保育所保護者連絡協議会代表）、上林 かおり委員（野洲市 P T A 連絡協議会（幼稚園）代表）、高畠 雅子委員（野洲市 P T A 連絡協議会（小学校）代表）、柳原 光江委員（野洲市 P T A 連絡協議会（小学校）代表）（欠席）、原田 直樹委員（学童保育所連絡協議会代表）、山口 桂子委員（民間保育所代表）、水谷 威彦委員[○]（野洲市社会福祉協議会代表）、古橋 紗人子委員[◎]（学識経験者）、辻川 眞由美委員（野洲市民生委員児童委員協議会代表）、増田 多美子委員（野洲市立小学校校長会代表）、安田 亮委員（事業者代表） 注）◎：会長、○：副会長

◆市側出席者

辻村健康福祉部政策監、三上こども課課長、瀬川こども課課長補佐、遠藤こども課課長補佐、井狩こども課課長補佐、辻こども課主査

◆傍聴者 なし

3.議事案件

（1）野洲市子ども・子育て支援事業計画の本年度の進捗状況について

事務局より、野洲市子ども・子育て支援事業計画の本年度の進捗状況について、基本目標 1「子育てにやさしい環境づくり」では、事業 No. 1～No.11、No.17、No.20 及び No.21、基本目標 2「子どもの生きる力を育む環境づくり」では、事業 No. 3、No. 8 及び No.14、基本目標 3「すべての子どもが健やかに育つ環境づくり」では、事業 No. 8、No.12、No.14、No.15、No.17 等の概要説明を行った。

◇委員からの主な意見・質問 ～要約～

（委員） 遊び場の確保・整備について、計画の事業（取り組み）内容には新規公園整備についても検討となっているが、平成 28 年度の計画内容や（成果）実績に記載されていないが、今後計画の予定はないのでしょうか。

（事務局） 平成 28 年度については具体的な計画がありませんでしたので、計画内容にはあげておりません。全体的な事業の中では検討しておりますので、全く公園整備について考えていないということではありません。ただ公園整備については場所やそれなりのスペース等が必要となりますので、当該年度の計画には載せられる熟度がないということであがっていないということです。公園の必要性については認識しておりますので、当然、これからの実現に向けた大きな課題であると受け止めております。

（委員） 前回の会議で市長が発達支援センターの構想についてお話されていましたが、人権センターに発達支援センターが作られないという話を聞きました。どうなったのですか。

（事務局） 発達支援センターの計画ですが、年度当初、人権センターに発達支援センターを設置するという計画を進めておりましたが、設計等進めていく中で、今の施設を活用していくと、逆にかなりコスト等が高くなって非常に困難な状況であるということが分かりまして、一旦中止、差し戻すということになっています。発達支援センターの整備については引き続き課題として認識しておりますので、整備の場所、あるいは方法について改めて検討を進めているという状況です。

4.報告事項

（1）平成 29 年度保育園・こども園・幼稚園・こどもの家の入所入園状況について

平成 29 年 1 月 31 日時点での平成 29 年度入所（園）の状況について説明を行った。

（2）平成 29 年度開所・開設予定施設について

平成 29 年度に新たに開所される保育所分園と、病児・病後児保育施設について、開所時

期、所在地、事業内容等の説明を行った。

(3) 多子世帯等の利用者負担額について、野洲市保育人材バンク事業について、保育士確保のための保育料補助制度について

国からの資料に基づき、本年4月1日から実施予定の「多子世帯」及び「ひとり親世帯等」の保育料の軽減措置の拡充について、野洲市でも準拠していくか検討した上で実施する旨の説明を行った。また昨年7月に開設したバンク機能を有した無料職業紹介所について、登録者数や紹介状況等の実績の説明を行った。また、新たに実施する、保育士確保のための保育料半額事業の説明を行った。

◇委員からの主な意見・質問 ～要約～

(委員) 保育士の働き方の相談や、保育士の抱えている不安・不満を吐き出せる場所は市としてあるのでしょうか。

(事務局) 今年度は保育人材バンクで担当者が就きましたので、短時間勤務の先生方を中心にアンケートやご意見をいただいたり、直接相談できる窓口を作って、各々の働き方が生かしていただけるようなシステムをとっております。

(委員) 新しく開所される保育所ですが、前の道が非常に危ないです。登園登校の時間にかぶってしまうと、非常に危ないと思いますので、何か検討していただければと思います。病児保育をされる小児科も同じ道路の延長にあると思いますので。

(事務局) 病児保育の件で、来院、あるいは施設をご利用される方々の駐車場は、本市の開発指導要綱に則ったかたちの駐車場の確保をさせていただくことで進めています。あわせて駐車場が足りない場合、平和堂さんの有料駐車場も借りることも視野に入れたなかで対応させていただいています。病児保育は最大収容6名という部屋の割り当てをさせていただいておりますが、これは机上での論理で、疾患がそれぞれ異なりますと部屋を変えないといけませんので、実際の病児保育利用者は最大6名ですが、3名程度の利用になると思います。

(事務局) いずれの事業も地先が小篠原ですので、小篠原の自治会役員さんとの協議も、当然、事業を着手する前からお話をさせていただいてご理解いただきながら進めております。また必要に応じて住民の方への説明会をさせていただいております。万が一危険なことがもしあるようでしたら、今申しました自治会さんとは情報共有や連携をさせていただいておりますので、そういったところでお話いただいて一緒に対策を考えさせていただいて対応していきたいと思っております。

(委員) 実際に通るのは行畑の子どもが多いのですが、行畑自治会の方とはお話をされないのですか。

(事務局) 事業の場所の地先が小篠原ですので、小篠原の自治会さんとお話をさせていただいております。今、ご指摘いただきました行畑さんにはお話をさせていただいてないというのが現状です。今後必要に応じて、調整させていただきたいと思っております。

(事務局) いずれにしても情報につきましては、きちんと市民の皆様の方に出させていただきましますし、何か支障等がございましたらお話をおうかがいし、対応していく形で進めてまいりたいと思っております。また今後そういった配慮をさせていただきたいと思っております。

(委員) 待機児童数が、想定以上に多かったと思いますが、前の見込みですと平成31年度に待機児童ゼロという計画ですが、今の状況で達成できる見込みがあるのでしょうか。

(事務局) ご指摘いただきましたように、当初、私どもが見込んでおりました量が増加しているのが現状でございます。国の中間見直しの手引きに沿いまして、見直しの案を作成したいということで、次回の会議へ議題を持ち送りさせていただいたところでございます。また計画では31年(度)で待機児童ゼロというのを目標に取り組みをさせていただいているところですが、再度見直しの中で検証してまいりたいと思っております。

5. その他

◇次回の野洲市子育て支援会議の予定について

次年度も、2回の会議を予定しており、年度当初には当該年度の計画に係る会議、年度末には実績報告に係る会議を予定していることを報告した。